

学校だより たぐち

佐久市立田口小学校 平成28年4月 1号

平成28年度の田口小が始まりました

新入生48名を迎えてのスタートです。4月も半ばを過ぎましたが、大きな怪我や事故といった事も無く過ごすことが出来ております。子どもたちを気持ちよく送り出している各ご家庭の皆さん、また毎朝、子どもたちの登校を見守ってくださっていただいている「田口っ子見守り隊」の皆様のお支えのおかげです。感謝申し上げます。

日々の学校生活はなんと言っても、学校に安全に来られると言うことから始まります。その意味でも有り難いことと思っております。本年度も、よろしく願いいたします。

28年度の職員組織について

* 校長 滝澤俊明

* 教頭 浜田康敬

教務主任	荒井 朋子	生徒指導主事	由井 直樹
副教務主任	出浦 久美	研究主任	篠原 紀子
保健主事	桜井 真澄	副研究主任	上原 浩晃
事務主任	武田 郁	物品取扱主任	武田 郁

◎は教務

学年	組	職名	学級担任氏名	備考
1年	1組	教諭	○小林 早苗	
	2組	教諭	池田 沙織	
2年	1組	教諭	○出浦 久美	◎
	2組	講師	小林 みさ子	
3年	1組	教諭	荒井 朋子	◎
	2組	講師	○中嶋 雅子	
4年	1組	教諭	○篠原 紀子	◎
	2組	教諭	上原 浩晃	
5年	1組	教諭	○由井 直樹	◎
	2組	教諭	北澤 祐史郎	
6年	1組	教諭	○清水 克哉	
特別支援	さつき	教諭	依田 敏正	◎

専科(音・家)	丸山 江里子	支援員	井出 麻美
養護教諭	桜井 真澄 ◎	支援員	野澤 弘美
主任(県費事務職員)	武田 郁 ◎	支援員	鷹野 理恵
少人数指導教員	上原 智子	スクールメンタルアドバイザー	高柳 元茂
学校用務員	櫻井 昇一郎	A L T	ハザー・マフィソン
理科支援員	佐藤 照雄	スクールカウンセラー	前田 陽子
図書館司書補(市)	小澤 佳奈子		

下記にお示ししましたのは、この3月で御退職・御転任された先生方です。本当に、お世話になった先生方です。田口小学校のために、また子どもたちのために全力でお勤めいただきました。有り難うございました。

	氏名	勤務年数	転出する学校名等
1	小林 徹哉 教頭	2	長野市立篠ノ井東小学校へ
2	橋爪 護 講師	1	佐久市立東小学校へ
3	林 慶子 教諭	6	ご退職（立科小学校へ）
4	小林 真実 教諭	3	軽井沢東部小学校へ
5	三浦 正之 教諭	2	ご退職（美南ガ丘小学校へ）
6	小林 睦 教諭	5	小諸市立千曲小学校へ
7	平林みえ子 講師（少人数）	1	ご退職
8	関口 茂子 講師（初任研後指導）	1	野岸小学校へ
9	駒村 美弥（特別支援員）	1	ご退職
10	諸星 初男（用務員）	3	浅科中学校へ

避難訓練「特別」から「日常」に

20日（水）には、避難訓練が行われました。避難訓練の目的は、避難の仕方を身につけるといってもありますが、「自分の身は自分で守る」ということの自覚であると私は考えます。

現在、熊本県を中心とする九州地方で、日々深刻な地震が続いています。それは私たちに地盤が安定しているといわれている佐久の地でも、同様のことが起きても何ら不思議ではありません。そんな意味でも「特別」にではなく「日常」的に、防災教育を進めて行かなければならないということを強く感じます。そうでなければ、大切な子どもたちを守ることが出来ません。

本年度、偶然ではありますが、発生した地震災害も含め、田口小学校では防災教育推進指定校として「防災・防犯マップ」の作成を行う計画を立てております。様々な災害の発生を想定し、それらに備えることが出来る基礎資料としてのマップを、子どもたちを含めて保護者の皆さんとともに作成したいと思います。自分で自分の身を守るということを実践するためには、自分の住む地域を知ることが重要です。よろしくご協力をお願いします。

一年生と六年生

一年間しか田口小学校での生活をともにする機会がない両学年です。年齢も大きく6歳（最大で）離れている学年ですが、朝などの様子を見ていると1年生が6年生におんぶして貰い、6年生の女子に楽しそうに遊んで貰っている1年生を日々見かけます。しかも両者ともとても楽しそうです。どこからその笑顔や関係が生じて来るのだろうと不思議です。どこかで知り合っていたのかもしれませんが。お家が近所だからかもしれませんが。または、先日に行われた1年生を迎える会で繋がりが出来たのかもしれませんが。理由はどうであれ、そうした関係性の中で、人に対する信頼や人への温かな思いを持ち、人が好きになる事は自分という「人」が形成されていく過程で外せない事柄だと考えます。1年生と6年生のこうした姿は、人として豊かだなと思います。

本年度3年目の勤務：3年間、一つの学校に勤務するという事は、田口小学校の子どもたちのために、勤務する先生方のためになる何かを形にしたいという思いを持ちます。とても難しいことですが、私に出来るかは不明です。でもなんとか学校に関わる人々全てが、幸せを感じられる学校に近づきたいと思います。学校は、子どもたちが伸びていくところです。一人一人の伸び方は異なります。伸びていく方向も異なります。同じ方向に伸びていくことがあっても伸び方には、差があります。でも、そのことがその子の人としての価値を決めてしまうものではありません。むしろ、まだ本人でさえ気がつけていない自分の中に眠っている力を隠しもっていると考える事が大事です。学校に勤める私たち職員はもちろん保護者の皆さんも様々な状況下にあっても、「子どもたちの持つ可能性」を信じる心を持って子どもたちに接する事こそが大切なことです。そのことが子どもを取り巻く大人の中に貫かれている「串」になることで、子どもたちに届き大きな成長をもたらすのだと考えます。本年度、一年間、全職員で精一杯精進いたします。よろしくをお願いします。

文責 田口小学校長 滝澤 俊明